

両津病院 看護助手のキャリアラダー

1 目的

医療の現場で看護師が、看護の専門性を発揮するためには、看護助手が看護師の業務を補助し、チームの一員として看護師と協働していくことが重要である。看護助手は、特に必要な資格もなく、看護補助業務を行っている。そのため、人材育成とキャリア開発の方向付けを行うことが必要である。そして、看護助手としては、重要な役割と責任を担う。

2 定義

看護助手の能力を<看護補助業務実践能力><組織的役割遂行能力><自己教育能力>の3つに分類し、到達レベル別目標を設定する。看護管理者が一人ひとりのキャリアラダーレベルを確認し、目標に向けての教育計画の助言・支援をする。

3 レベル

▼定義

レベルⅢ 看護助手リーダー

業務の効率を考えた行動が取れ、
看護助手のリーダー的役割を果たす

レベルⅡ 看護助手

●経験者

経験を積み上げ、業務の効率を
考えることができる
看護チームの一員としての自覚を持ち、
主体的に行動できる

レベルⅠ 看護助手

資格なく、医療現場で働くため、
技術を最初から学ぶレベル

看護師指導の下、看護助手
業務に必要な知識・技術を
身につける

看護助手の 実践能力

- 看護補助業務実践能力
- 組織的役割遂行能力
- 自己教育能力